

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成20年4月10日(2008.4.10)

【公開番号】特開2000-348179(P2000-348179A)

【公開日】平成12年12月15日(2000.12.15)

【出願番号】特願2000-125633(P2000-125633)

【国際特許分類】

G 06 T 7/00 (2006.01)

G 06 F 17/30 (2006.01)

G 06 T 1/00 (2006.01)

【F I】

G 06 T 7/00 100 A

G 06 F 17/30 170 B

G 06 T 1/00 200 E

【手続補正書】

【提出日】平成20年2月27日(2008.2.27)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】 カラー画像を表現する方法であって、
画像に対する優勢色として各優勢色に対して2以上の色を選択するステップと、
前記優勢色に関連する色空間内の前記画像の色配分の分散を計算するステップと、
各優勢色の色空間値及び各色分散の値に基づいて前記画像を表現するステップと
を含むカラー画像を表現する方法。

【請求項2】 前記デスクリプタをデータ格納手段に格納すること
を含む請求項1に記載のカラー画像を表現する方法。

【請求項3】 優勢色を選択するステップは、前記画像に対するカラーヒストグラム
を導出することを含む請求項1または2に記載のカラー画像を表現する方法。

【請求項4】 優勢色を選択するステップは、前記カラーヒストグラムの局所的なピ
ークを識別し、優勢色としてその対応する色を選択することを含む請求項3に記載のカラ
ー画像を表現する方法。

【請求項5】 前記画像の領域を選択することを含み、
前記優勢色は、前記領域に対して選択される請求項1から4までのいずれか1項に記載
のカラー画像を表現する方法。

【請求項6】 前記画像領域は、その画像内容とは無関係である請求項5に記載のカラ
 ー画像を表現する方法。

【請求項7】 前記画像領域は、ポリゴンである請求項6に記載のカラー画像を表現
 する方法。

【請求項8】 前記画像領域は、オブジェクトに対応している請求項5に記載のカラ
 ー画像を表現する方法。

【請求項9】 前記色値は複数の色成分に基づいて表され、
各色成分に対する色分散を計算することを含む請求項1から8までのいずれか1項に記
載のカラー画像を表現する方法。

【請求項10】 色成分の対に対して色共分散を計算することを含む請求項9に記載
のカラー画像を表現する方法。

【請求項 11】 前記画像領域内の優勢色の相対的な重要性を表す各優勢色に対する重みを計算することを含む請求項 1 から 10 までのいずれか 1 項に記載のカラー画像を表現する方法。

【請求項 12】 各優勢色の前記色空間値及び前記各色分散値を含むデスクリプタを形成することを含む請求項 1 から 11 までのいずれか 1 項に記載のカラー画像を表現する方法。

【請求項 13】 前記デスクリプタは、前記画像領域内の優勢色の相対的な重要性を表す優勢色、共分散値及び重みの数を表す 1 以上の数をさらに含むことを含む請求項 12 に記載のカラー画像を表現する方法。

【請求項 14】 請求項 1 から 13 までのいずれかに記載の方法を実行するのに適合した装置。

【請求項 15】 請求項 1 から 13 までのいずれか 1 項に記載の方法により動作するようにプログラムされたコンピュータシステムである、請求項 14 に記載の装置。

【請求項 16】 請求項 1 から 13 までのいずれかに記載の方法を実行するのに適合したコンピュータシステム。

【請求項 17】 請求項 1 から 13 までのいずれかに記載の方法を実行するためのコンピュータプログラムを格納するコンピュータプログラムまたはコンピュータで読み取り可能な記憶媒体。